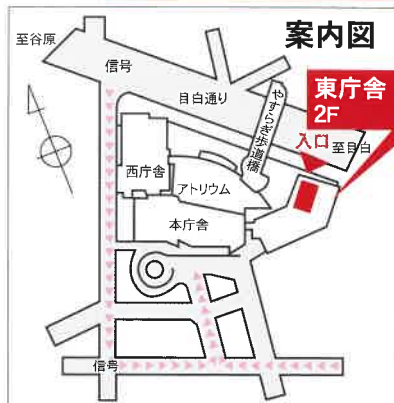


# 練馬区夜間救急 こどもクリニックご案内



## 場所

練馬区役所東庁舎2階  
練馬区豊玉北6-12-1  
☎3994-2238

## 診療日・受付時間

月曜～金曜(祝休日・年末年始を除く)
午後8時～午後10時30分
日曜・祝休日・土曜・年末年始
午後6時～午後9時30分
※昼間の診療については下記の休日急患診療所案内参照

## 診療科目

小児科 (必ず小児科医師が診療します)

## 対象

15歳以下の子ども

- 入院が必要な場合等は、連携病院に受入れを依頼します。予約は不要です。
- 受診の際は、保険証・乳・子各種医療証及びお薬手帳等をお持ちください。

## 急病のときのその他の診療所

- 練馬休日急患診療所【内科・小児科】  
練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎2階 ☎3994-2238
- 石神井休日急患診療所【内科・小児科】 ※主として内科医が小児科を兼務しています。  
練馬区石神井町3-30-26 石神井庁舎地下1階 ☎3996-3404

受付時間	日曜・祝休日・年末年始	午前10時～午前11時30分 午後6時～午後9時30分	午後1時～午後4時30分
共通	土曜	午後6時～午後9時30分	

## 相談窓口

- \*東京都医療機関案内サービス「ひまわり」 ☎5272-0303
- \*東京消防庁救急相談センター ☎3212-2323  
(24時間対応・年中無休)
- \*東京都「子供の健康相談室」(小児救急相談) ☎5285-8898  
(平日:午後6時～翌朝8時  
土・日・祝:午前8時～翌朝8時)
- \*東京都「子供の健康相談室」(小児救急相談) ☎プッシュ回線#8000

■かかりつけ医の案内など 医療連携センター

☎3997-0121  
(平日:午前9時～午後5時)

# こどもクリニック通信NO.2

## インフルエンザって どんな病気?



\*お子さんの様子がおかしいときは早めにかかりつけの小児科へ、また夜間の救急の場合には、「練馬区夜間救急こどもクリニック」へ

(ご案内は裏)

練馬区・練馬区医師会

# インフルエンザと 普通の風邪はどう違うの？



インフルエンザは毎年冬になると流行します。普通のかぜは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などが中心ですが、インフルエンザの場合には39℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、合わせて普通の風邪と同様の症状もみられます。小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発することが多く、時には脳症を発生し重症化することもインフルエンザの特徴です。



## インフルエンザ

### 症状

急激な発熱とだるさで発病します。熱は3～5日続きます。さらに、咳や鼻水、頭痛、のどや筋肉・関節の痛みなどもおこります。下痢や嘔吐など、腹部の症状を起こす場合もあります。

### 予防

- ①外から帰ったら「手洗い・うがい」をする習慣をつけましょう。
- ②なるべく人混みを避けましょう。
- ③外出時はマスクを着用しましょう。
- ④日頃から十分な栄養や休養をとり、体力の維持につとめましょう。
- ⑤室内の乾燥を防ぎ、部屋の換気をしましょう。



# インフルエンザに かからないためには!!



流行する前に、**予防接種**を受けることです。

予防接種を受けていれば、インフルエンザに「**かかっても軽くすむ**」ことが期待できます。

特に重症になる率は非常に少なくなります。

### 受ける時期

生後6か月から接種できます。

### 接種の方法

1～4週間の間隔で2回接種しますが、時間的余裕があれば、3～4週間開けた方が効果があると言われています。10月から12月上旬までに接種しましょう。

### 受けるときの注意

卵アレルギーの人が接種を受ける際にも心配はありませんが、念のためかかりつけの医師に相談しましょう。



\* 赤ちゃんのいる家庭は、お父さん・お母さん・お兄ちゃん・お姉ちゃんが積極的に受けるようにしてください。赤ちゃんだけが受けていても、家族がかかると赤ちゃんもかかってしまうこともあります。